

一般教育訓練明示書(樣式例)

講座の名称	介護福祉士実務者研修(通信)基礎研修了者				
実施方法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信スクーリング(回数 1 回)				
指定講座番号(15桁)	1122008	—	2420022	—	5
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和4年10月5日	過去一年の講座実績	入講者数(累積) (1人)	修了者数 (1人)	
訓練期間	2ヶ月		総訓練時間	102.5 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		介護・看護求人支援センターさいたま中央			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		面接授業の受講が可能な者であって、介護福祉士の資格取得を目指すもの			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		食事、更衣、入浴介助など、高齢者や障がい者にさまざまな専門的サポートを行うための確かな知識とスキルが身につく為、訪問介護サービスにおいては必須の資格となり、介護老人福祉施設、病院などでも就職に有利となる資格となる。			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
医療的ケア		50	実務者研修テキスト8巻		
演習:介護過程Ⅲ(45時間)、喀痰吸引及び経管栄養演習(7.5時間)					
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		基礎研修修了者			
③その他					

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	1	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	1	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	1	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	1	人			
(2)受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	1	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人	②A:就業者計	1人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	1人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	1	人	④A:就業者計	1人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業者	0	人	④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	1人
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	1	人		
	4 変わらない	0	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計	1人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 早期に転職・再就職できる	0	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	1	人		
	7 趣味・教養に役立つ	0	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	0	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	1人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
講座終了後に、実務経験3年以上のほとんどが介護福祉士試験を受験する。受講時はほとんどの人が就労しており、継続して就労している人が多い。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		スクーリング出席率100%、通信課題・終了試験は70%以上で合格することをもって到達度を把握する。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:さいたま市中央区本町西5丁目2-9イオンモール与野3F 時期:4月から9月 期間:開校日より2か月 回数:医療的ケア1回			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
①通信課題で合格基準点(各課題の全問題数の70%以上)に達すること。 ②スクーリングに全て出席(100%)すること。 ③終了評価試験で合格基準点(70%以上)に達すること。					

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		課題は合格基準に達するまで繰り返し学習することで理解度を深める。 質問等があれば随時面談、メールや電話などで対応する。 演習についてはチェックリストを使用し、7割以上の習得を目指し必要な知識、技術、授業態度を含め、総合的な指導、助言を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		質問の受付をLINEにて随時受付をし、知識技術ともに習熟できるような体制を確保している。 スクーリングを欠席する場合には補講（無料、有料）にて対応する。 求職中の受講生には希望者に応じて隣接している「求人支援センター」の就職相談員が相談に応じている。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社ソノヒトラシサ (代表者名：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	埼玉県さいたま市桜区田島4-9-8 TEL 048-866-7200		
施設名称及び施設長名	介護・看護求人支援センターさいたま中央 (施設長：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	さいたま市中央区本町西5丁目2-9 イオンモール与野3階 TEL 048-789-7670		
給付制度担当部署・者	研修企画室 (担当者：浅倉 剛)		
連絡先	TEL 048-789-7670		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 33,000 円		
支払い方法			
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	33,000 円	
③ 両方可		(うち、必須教材費 2,200 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 33,000 円		

〔特記事項〕

--

一般教育訓練明示書(樣式例)

講座の名称	介護福祉士実務者研修(通信)1級修了者				
実施方法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	1122008	—	2420032	—	8
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和4年10月5日	過去一年の講座実績 令和9年9月30日まで	入講者数(累積) (1人)	修了者数 (1人)	
訓練期間	2ヶ月		総訓練時間	102.5 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		介護・看護求人支援センターさいたま中央			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		面接授業の受講が可能な者であって、介護福祉士の資格取得を目指すもの			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		食事、更衣、入浴介助など、高齢者や障害者に個別性のある専門的なサポートを行うための根拠となる介護過程の展開が習得できるため、介護現場のリーダーとしてのスキルが身につく。国家資格である介護福祉士の受験のために必須の資格でもあるため、知識、技術を求められる訪問介護、介護老人保健施設などの就職に有利となる			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
医療的ケア		50	実務者研修テキスト8巻		
介護過程Ⅲ		45	実務者研修テキスト5巻		
喀痰吸引及び経管栄養演習(7.5時間)					
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		訪問介護員1級修了者			
③その他					

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	1	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	1	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	1	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	1	人			
(2)受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	1	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人	②A:就業者計	1人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	1人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	1	人	④A:就業者計	1人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業者	0	人	④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	1人
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	1	人		
	4 変わらない	0	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計	1人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 早期に転職・再就職できる	0	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0	人		
	7 趣味・教養に役立つ	1	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	0	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	1人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
講座終了後に、実務経験3年以上のほとんどが介護福祉士試験を受験する。受講時はほとんどの人が就労しており、継続して就労している人が多い。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		スクーリング出席率100%、通信課題・終了試験は70%以上で合格することをもって到達度を把握する。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:さいたま市中央区本町西5丁目2-9イオンモール与野3F 時期:4月から9月 期間:開校日より2か月 回数:医療的ケア1回、介護過程Ⅲ6回			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
①通信課題で合格基準点(各課題の全問題数の70%以上)に達すること。 ②スクーリングに全て出席(100%)すること。 ③終了評価試験で合格基準点(70%以上)に達すること。					

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		課題は合格基準に達するまで繰り返し学習することで理解度を深める。 質問等があれば随時面談、メールや電話などで対応する。 演習についてはチェックリストを使用し、7割以上の習得を目指し必要な知識、技術、授業態度を含め、総合的な指導、助言を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		質問の受付をLINEにて随時受付をし、知識技術ともに習熟できるような体制を確保している。 スクーリングを欠席する場合には補講（無料、有料）にて対応する。 求職中の受講生には希望者に応じて隣接している「求人支援センター」の就職相談員が相談に応じている。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社ソノヒトラシサ (代表者名：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	埼玉県さいたま市桜区田島4-9-8 TEL 048-866-7200		
施設名称及び施設長名	介護・看護求人支援センターさいたま中央 (施設長：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	さいたま市中央区本町西5丁目2-9 イオンモール与野3階 TEL 048-789-7670		
給付制度担当部署・者	研修企画室 (担当者：浅倉 剛)		
連絡先	TEL 048-789-7670		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 60,500 円		
支払い方法			
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	60,500 円	
③ 両方可		(うち、必須教材費 4,400 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 60,500 円		

〔特記事項〕

--

一般教育訓練明示書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修(通信)初任者修了者				
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	1122008	—	2420042	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間 令和4年10月5日	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)(35人)	修了者数 (35人)	
訓練期間	4ヶ月		総訓練時間	327.5 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		介護・看護求人支援センターさいたま中央			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		面接授業の受講が可能な者であって、介護福祉士の資格取得を目指すもの			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		食事、更衣、入浴介助など、高齢者や障害者に個別性のある専門的なサポートを行うための根拠となる介護過程の展開が習得できるため、介護現場のリーダーとしてのスキルが身につく。国家資格である介護福祉士の受験のために必須の資格でもあるため、知識、技術を求められる訪問介護、介護老人保健施設などの就職に有利となる			
2. 教育訓練の内容					
教科（カリキュラム）		時間	使用教材名		
社会の理解Ⅱ		30	実務者研修テキスト1巻		
介護の基本Ⅱ		20	実務者研修テキスト2巻		
コミュニケーション技術		20	実務者研修テキスト3巻		
介護過程Ⅱ		25	実務者研修テキスト5巻		
こころとからだのしくみⅡ		60	実務者研修テキスト7巻		
発達と老化の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
発達と老化の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
認知症の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
障害の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
医療的ケア		50	実務者研修テキスト8巻		
演習：介護過程Ⅲ(45時間)、喀痰吸引及び経管栄養演習(7.5時間)			実務者研修テキスト5・8巻		
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		初任者研修修了者			
③その他					

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	35	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	35	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	35	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	35	人			
(2)受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	35	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	17	人	②A:就業者計	33人
	2 非正社員、派遣社員	15	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業	2	人	②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	33	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	33人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	17	人	④A:就業者計	33人
	2 非正社員、派遣社員	15	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業者	2	人	④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	33人
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	25	人		
	4 変わらない	8	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	20	人	⑥の回答数合計	35人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 早期に転職・再就職できる	3	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	5	人		
	7 趣味・教養に役立つ	2	人		
	8 その他の効果	1	人		
	9 特に効果はない	0	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	2人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	2	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	2	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	35人
	2 おおむね満足	15	人		
	3 どちらとも言えない	17	人		
	4 やや不満	1	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
講座終了後に、実務経験3年以上のほとんどが介護福祉士試験を受験する。受講時はほとんどの人が就労しており、継続して就労している人が多い。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		スクーリング出席率100%、通信課題・終了試験は70%以上で合格することをもって到達度を把握する。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:さいたま市中央区本町西5丁目2-9イオンモール与野3F 時期:4月から9月 期間:開校日より4か月 回数:医療的ケア1回、介護過程Ⅲ6回			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
①通信課題で合格基準点(各課題の全問題数の70%以上)に達すること。 ②スクーリングに全て出席(100%)すること。 ③終了評価試験で合格基準点(70%以上)に達すること。					

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		課題は合格基準に達するまで繰り返し学習することで理解度を深める。 質問等があれば随時面談、メールや電話などで対応する。 演習についてはチェックリストを使用し、7割以上の習得を目指し必要な知識、技術、授業態度を含め、総合的な指導、助言を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		質問の受付をLINEにて随時受付をし、知識技術ともに習熟できるような体制を確保している。 スクーリングを欠席する場合には補講（無料、有料）にて対応する。 求職中の受講生には希望者に応じて隣接している「求人支援センター」の就職相談員が相談に応じている。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社ソノヒトラシサ (代表者名：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	埼玉県さいたま市桜区田島4-9-8 TEL 048-866-7200		
施設名称及び施設長名	介護・看護求人支援センターさいたま中央 (施設長：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	さいたま市中央区本町西5丁目2-9 イオンモール与野3階 TEL 048-789-7670		
給付制度担当部署・者	研修企画室 (担当者：浅倉 剛)		
連絡先	TEL 048-789-7670		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 60,500 円		
支払い方法			
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	60,500 円	
③ 両方可		(うち、必須教材費 10,966 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 60,500 円		

〔特記事項〕

--

一般教育訓練明示書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修(通信)2級修了者				
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	1122008	—	2420052	—	3
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間 令和4年10月5日	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)(14人)	修了者数 (14人)	
訓練期間	4ヶ月		総訓練時間	327.5 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		介護・看護求人支援センターさいたま中央			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		面接授業の受講が可能な者であって、介護福祉士の資格取得を目指すもの			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		食事、更衣、入浴介助など、高齢者や障害者に個別性のある専門的なサポートを行うための根拠となる介護過程の展開が習得できるため、介護現場のリーダーとしてのスキルが身につく。国家資格である介護福祉士の受験のために必須の資格でもあるため、知識、技術を求められる訪問介護、介護老人保健施設などの就職に有利となる			
2. 教育訓練の内容					
教科（カリキュラム）		時間	使用教材名		
社会の理解Ⅱ		30	実務者研修テキスト1巻		
コミュニケーション技術		20	実務者研修テキスト3巻		
介護過程Ⅱ		25	実務者研修テキスト5巻		
こころとからだのしくみⅡ		60	実務者研修テキスト7巻		
発達と老化の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
発達と老化の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
認知症の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
認知症の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
障害の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
障害の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
医療的ケア		50	実務者研修テキスト8巻		
演習：介護過程Ⅲ(45時間)、喀痰吸引及び経管栄養演習(7.5時間)			実務者研修テキスト5・8巻		
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		訪問介護員2級修了者			
③その他					

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	14	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	14	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	14	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	14	人			
(2)受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	14	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	5	人	②A:就業者計	12人
	2 非正社員、派遣社員	7	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	2	人	②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	12	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	12人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	5	人	④A:就業者計	12人
	2 非正社員、派遣社員	7	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業者	2	人	④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	12人
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	11	人		
	4 変わらない	1	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	8	人	⑥の回答数合計	14人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 早期に転職・再就職できる	2	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	2	人		
	7 趣味・教養に役立つ	0	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	0	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	1	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	1	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	7	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	14人
	2 おおむね満足	6	人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
講座終了後に、実務経験3年以上のほとんどが介護福祉士試験を受験する。受講時はほとんどの人が就労しており、継続して就労している人が多い。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		スクーリング出席率100%、通信課題・終了試験は70%以上で合格することをもって到達度を把握する。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:さいたま市中央区本町西5丁目2-9イオンモール与野3F 時期:4月から9月 期間:開校日より4か月 回数:医療的ケア1回、介護過程Ⅲ6回			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
①通信課題で合格基準点(各課題の全問題数の70%以上)に達すること。 ②スクーリングに全て出席(100%)すること。 ③終了評価試験で合格基準点(70%以上)に達すること。					

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		課題は合格基準に達するまで繰り返し学習することで理解度を深める。 質問等があれば随時面談、メールや電話などで対応する。 演習についてはチェックリストを使用し、7割以上の習得を目指し必要な知識、技術、授業態度を含め、総合的な指導、助言を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		質問の受付をLINEにて随時受付をし、知識技術ともに習熟できるような体制を確保している。 スクーリングを欠席する場合には補講（無料、有料）にて対応する。 求職中の受講生には希望者に応じて隣接している「求人支援センター」の就職相談員が相談に応じている。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社ソノヒトラシサ (代表者名：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	埼玉県さいたま市桜区田島4-9-8 TEL 048-866-7200		
施設名称及び施設長名	介護・看護求人支援センターさいたま中央 (施設長：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	さいたま市中央区本町西5丁目2-9 イオンモール与野3階 TEL 048-789-7670		
給付制度担当部署・者	研修企画室 (担当者：浅倉 剛)		
連絡先	TEL 048-789-7670		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 60,500 円		
支払い方法			
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	60,500 円	
③ 両方可		(うち、必須教材費 11,547 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 60,500 円		

〔特記事項〕

--

一般教育訓練明示書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修(通信)無資格				
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	1122008	—	2420062	—	6
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間 令和4年10月5日	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)(21人)	修了者数 (21人)	
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	457.5 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		介護・看護求人支援センターさいたま中央			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		面接授業の受講が可能な者であって、介護福祉士の資格取得を目指すもの			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		食事、更衣、入浴介助など、高齢者や障害者に個別性のある専門的なサポートを行うための根拠となる介護過程の展開が習得できるため、介護現場のリーダーとしてのスキルが身につく。国家資格である介護福祉士の受験のために必須の資格でもあるため、知識、技術を求められる訪問介護、介護老人保健施設などの就職に有利となる			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
人間の尊厳と自立		5	実務者研修テキスト1巻		
社会の理解Ⅰ		5	実務者研修テキスト1巻		
社会の理解Ⅱ		30	実務者研修テキスト1巻		
介護の基本Ⅰ		10	実務者研修テキスト2巻		
介護の基本Ⅱ		20	実務者研修テキスト2巻		
コミュニケーション技術		20	実務者研修テキスト3巻		
生活支援技術Ⅰ		20	実務者研修テキスト4巻		
生活支援技術Ⅱ		30	実務者研修テキスト4巻		
介護過程Ⅰ		20	実務者研修テキスト5巻		
介護過程Ⅱ		25	実務者研修テキスト5巻		
こころとからだのしくみⅠ		20	実務者研修テキスト7巻		
こころとからだのしくみⅡ		60	実務者研修テキスト7巻		
発達と老化の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
発達と老化の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
認知症の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
認知症の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
障害の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
障害の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
医療的ケア		50	実務者研修テキスト8巻		
演習:介護過程Ⅲ(45時間)、喀痰吸引及び経管栄養演習(7.5時間)			実務者研修テキスト5・8巻		
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		特になし			
③その他					

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	21	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	21	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	21	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	21	人			
(2)受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	21	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	14	人	②A:就業者計	21人
	2 非正社員、派遣社員	7	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	21	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	21人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	14	人	④A:就業者計	21人
	2 非正社員、派遣社員	7	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業者	0	人	④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	18人
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	15	人		
	4 変わらない	3	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	11	人	⑥の回答数合計	21人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 早期に転職・再就職できる	3	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	5	人		
	7 趣味・教養に役立つ	0	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	0	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	13	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	21人
	2 おおむね満足	8	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
講座終了後に、実務経験3年以上のほとんどが介護福祉士試験を受験する。受講時はほとんどの人が就労しており、継続して就労している人が多い。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		スクーリング出席率100%、通信課題・終了試験は70%以上で合格することをもって到達度を把握する。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:さいたま市中央区本町西5丁目2-9イオンモール与野3F 時期:4月から9月 期間:開校日より6か月 回数:医療的ケア1回、介護過程Ⅲ6回			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
①通信課題で合格基準点(各課題の全問題数の70%以上)に達すること。 ②スクーリングに全て出席(100%)すること。 ③終了評価試験で合格基準点(70%以上)に達すること。					

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		課題は合格基準に達するまで繰り返し学習することで理解度を深める。 質問等があれば随時面談、メールや電話などで対応する。 演習についてはチェックリストを使用し、7割以上の習得を目指し必要な知識、技術、授業態度を含め、総合的な指導、助言を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		質問の受付をLINEにて随時受付をし、知識技術ともに習熟できるような体制を確保している。 スクーリングを欠席する場合には補講（無料、有料）にて対応する。 求職中の受講生には希望者に応じて隣接している「求人支援センター」の就職相談員が相談に応じている。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社ソノヒトラシサ (代表者名：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	埼玉県さいたま市桜区田島4-9-8 TEL 048-866-7200		
施設名称及び施設長名	介護・看護求人支援センターさいたま中央 (施設長：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	さいたま市中央区本町西5丁目2-9 イオンモール与野3階 TEL 048-789-7670		
給付制度担当部署・者	研修企画室 (担当者：浅倉 剛)		
連絡先	TEL 048-789-7670		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 88,000 円		
支払い方法			
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	88,000 円	
③ 両方可		(うち、必須教材費 11,725 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 88,000 円		

〔特記事項〕

--

一般教育訓練明示書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修(通信)3級修了者				
実施方法	① 通学（昼間・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	1122008	—	2420072	—	9
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和4年10月5日	過去一年の講座実績	入講者数(累積)（0人）	修了者数（0人）	
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	427.5 時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士実務者研修			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		介護・看護求人支援センターさいたま中央			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		面接授業の受講が可能な者であって、介護福祉士の資格取得を目指すもの			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		食事、更衣、入浴介助など、高齢者や障害者に個別性のある専門的なサポートを行うための根拠となる介護過程の展開が習得できるため、介護現場のリーダーとしてのスキルが身につく。国家資格である介護福祉士の受験のために必須の資格でもあるため、知識、技術を求められる訪問介護、介護老人保健施設などの就職に有利となる			
2. 教育訓練の内容					
教科（カリキュラム）		時間	使用教材名		
社会の理解Ⅱ		30	実務者研修テキスト1巻		
介護の基本Ⅰ		10	実務者研修テキスト2巻		
介護の基本Ⅱ		20	実務者研修テキスト2巻		
コミュニケーション技術		20	実務者研修テキスト3巻		
生活支援技術Ⅱ		30	実務者研修テキスト4巻		
介護過程Ⅰ		20	実務者研修テキスト5巻		
介護過程Ⅱ		25	実務者研修テキスト5巻		
こころとからだのしくみⅠ		20	実務者研修テキスト7巻		
こころとからだのしくみⅡ		60	実務者研修テキスト7巻		
発達と老化の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
発達と老化の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
認知症の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
認知症の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
障害の理解Ⅰ		10	実務者研修テキスト6巻		
障害の理解Ⅱ		20	実務者研修テキスト6巻		
医療的ケア		50	実務者研修テキスト8巻		
演習：介護過程Ⅲ(45時間)、喀痰吸引及び経管栄養演習(7.5時間)			実務者研修テキスト5・8巻		
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		訪問介護員3級修了者			
③その他					

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1)資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	0	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(②/①)	0.0	%
③ ②のうち合格者数	0	人	合格率(③/②)	0.0	%
④ 上記②・③の回答者数	0	人			
(2)受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	0	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A:就業者計	0人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B:非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	0	人	④A:就業者計	0人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業者	0	人	④B:非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	0人
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	0	人		
	4 変わらない	0	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計	0人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 早期に転職・再就職できる	0	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0	人		
	7 趣味・教養に役立つ	0	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	0	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	0人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
講座終了後に、実務経験3年以上のほとんどが介護福祉士試験を受験する。受講時はほとんどの人が就労しており、継続して就労している人が多い。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		スクーリング出席率100%、通信課題・終了試験は70%以上で合格することをもって到達度を把握する。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		場所:さいたま市中央区本町西5丁目2-9イオンモール与野3F 時期:4月から9月 期間:開校日より6か月 回数:医療的ケア1回、介護過程Ⅲ6回			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
①通信課題で合格基準点(各課題の全問題数の70%以上)に達すること。 ②スクーリングに全て出席(100%)すること。 ③終了評価試験で合格基準点(70%以上)に達すること。					

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		課題は合格基準に達するまで繰り返し学習することで理解度を深める。 質問等があれば随時面談、メールや電話などで対応する。 演習についてはチェックリストを使用し、7割以上の習得を目指し必要な知識、技術、授業態度を含め、総合的な指導、助言を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		質問の受付をLINEにて随時受付をし、知識技術ともに習熟できるような体制を確保している。 スクーリングを欠席する場合には補講（無料、有料）にて対応する。 求職中の受講生には希望者に応じて隣接している「求人支援センター」の就職相談員が相談に応じている。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社ソノヒトラシサ (代表者名：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	埼玉県さいたま市桜区田島4-9-8 TEL 048-866-7200		
施設名称及び施設長名	介護・看護求人支援センターさいたま中央 (施設長：黒川 芳道)		
住所及び連絡先	さいたま市中央区本町西5丁目2-9 イオンモール与野3階 TEL 048-789-7670		
給付制度担当部署・者	研修企画室 (担当者：浅倉 剛)		
連絡先	TEL 048-789-7670		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 88,000 円		
支払い方法			
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	88,000 円	
③ 両方可		(うち、必須教材費 11,725 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 88,000 円		

〔特記事項〕

--